

青少年人口
男 9,794人 (-23)
女 9,441人 (-31)
計 19,235人 (-54)
平成31年3月1日現在
()内は、前年度比

※6歳~24歳人口の合計

あきしまの青少年

NO.253
2019
3/11

編集・発行/昭島市青少年問題協議会事務局(子ども家庭部 子ども育成課内) 〒196-8511 昭島市田中町1-17-1 ☎042(544)5111 内線2254

おもな内容

- 1面 青少年の善行を表彰・健全育成協力者に感謝状贈呈/校長随想
- 2面 青少年とともにあゆむ小学校地区委員会の活動と紹介/青少年フェスティバル実行委員を募集/放課後子ども教室登録を受付けています
- 3面 第58回 新春たこあげ大会が開催されました/手作りたこの展示の様子/第65回昭島市成人式/青少年交流センターまつり
- 4面 第64回 昭島市新春駅伝競走大会

青少年の善行を表彰・青少年健全育成協力者に感謝状贈呈



青少年の善行に対する表彰は、善い行いをした青少年を励ますことにより、一層の活躍を期待し、より良い地域社会をつくることを目的に行っています。お名前と、表彰内容は次のとおりです。
《敬称略》

青少年善行表彰

平成30年度の昭島市青少年善行表彰式と青少年健全育成協力者への感謝状贈呈式が3月3日(日)に市役所市民ホールで行われました。

◆青少年の指導に関すること

- ◇戸田 千尋 (上川原町)
- ◇山村 幸輝 (大神町)
- ◇森谷 拓未 (武蔵野)
- ◇小山 歩夢 (中神町)
- ◇青野 咲良 (大神町)
- ◇中畑 幸花 (田中町)
- ◇木村 直登 (美堀町)
- ◇金城 真治 (朝日町)
- ◇諸江 慶紀 (美堀町)
- ◇島田 滯 (武蔵野)
- ◇大濱 杏菜 (宮沢町)
- ◇新井 野明 (つつじが丘)
- ◇清水 健斗 (美堀町)

◆消防・警察への協力

- ◇細川 葵衣 (朝日町)

◆環境美化に関すること

- ◇関口 愛理 (福島町)

◆その他特に善行と認められるもの

- ◇本城 遥妃 (中神町)
- ◇高橋 瑠希 (中神町)
- ◇啓明学園 中高聖歌隊 (拝島町)
- ◇昭島市立 福島中学校 生徒会(福島町)
- ◇野口 佳純 (田中町)
- ◇川瀬 樹 (朝日町)
- ◇西山 慶士 (郷地町)
- ◇庄野 圭吾 (郷地町)
- ◇内藤 愛理 (緑町)



青少年健全育成協力者

青少年の健全育成活動を長年にわたり、積極的に行っている次の方々に青少年健全育成協力者感謝状を贈りました。
《敬称略》

- ◇大森 美樹 (中神町)
- ◇北原 美保 (中神町)
- ◇武田 香織 (中神町)
- ◇大久保 幸夫 (田中町)
- ◇上村 和彦 (宮沢町)
- ◇陰山 忠政 (東町)
- ◇陰山 寿子 (東町)
- ◇大木 弘子 (東町)
- ◇岩崎 恭子 (郷地町)
- ◇小川 恵美子 (福島町)
- ◇加治屋卓見 (つつじが丘)
- ◇坂田 治美 (つつじが丘)
- ◇水野 和雄 (つつじが丘)
- ◇平川 貴浩 (宮沢町)
- ◇柳田 仁 (宮沢町)



「共に学び、共に育つ」

拝島第二小学校
前田 校長先生



本校は昭島市の北に位置し、さらに北側を流れる自然豊かな玉川上水を越えると横田の米軍基地が控えている。そんな環境の中、明るく伸びやかな笑顔で登校してくる子供たちと毎朝、校門であいさつを交わすのが何よりの楽しみである。着任して3年、校長として地域や保護者の方々の温かい御理解と御支援のおかげでどうにか務めることができています。

本校の子供たちのあいさつは、明るく爽やかである。これは、学校教育だけで実現するものではない。各ご家庭での日々の暮らしや美堀シブター、スポーツフェスティバル等で子供たちを温かく見守ってくださる地域の方々との触れ合いがあつてこそのものだと考えている。そんな周りの大人を信じて育ってきた子供たちであるがゆえに、時折、人見知りや引込み思案なところが顔をのぞかせる。

そこで、「子供たちに学ぶ楽しさ、自らの成長を十分に感じながら学習に取り組んでほしい。その力は生涯を通じて子供たちを支える力になるはず。」そんな願いから、本校では平成29年度より昭島市教育委員会の指定を受け、「主体的・対話的で深い学びを目指した授業改善」に取り組んでいる。「やってみよう」という子供たちの主体性を引き出し、「かかわってみよう」と思わせる対話的な場面を設け、「やってみよう」がよかった。次もがんばるぞ。」と次への学びにつながる深い学びへと授業を変えるにはどのようにすればよいか、皆で頭を悩ませながらゆっくりと研究を進めてきた。

そんな教員たちに、9割を超える子供たちが「授業が分かりやすい」「工夫されている」と背中を押してくれている。保護者の方々も同様だ。明るく爽やかな子供たちの主体性を引き出すと懸命な努力を続けていたら、教員も含めた学校全体が主体的に学ぼうとする集団になってきていた。

結局のところ、温かい保護者と地域の方々には背中を支えられて、子供も我々教員も、さらには学校も共に育っていることを改めて感じている。